

てんえい 議会だより

No.145

平成31年1月30日発行

主な内容

- 新年のごあいさつ …………… P2
- 平成30年12月定例会 …… P3～4
- 5議員が一般質問 …………… P5～10
- 中学生による模擬議会 …… P12



内容は12ページ記事をご覧ください。

平成31年

新年のごあいさつ

謹んで新年のお慶びを申し上げます



議長
廣瀬 和吉

村民の皆様には希望に満ちた新春をお健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。

新たな年を迎え、村議会としてその役割と責任の重さを自覚し、決意も新たに議会の活性化に取り組み、魅力ある天栄村にするため全力を尽くす所存です。

村民の皆様にとりまして、この二年が素晴らしい年でありますことを心からお祈り申し上げます。



村議会議員 一同

12月定例会 [会期] 12月4日～7日まで

羽鳥湖高原地域駐車場用地として 田良尾字芝草地内の用地取得について議決

平成30年12月定例会では、6月定例会において予算が計上された公有財産の取得や平成30年度一般会計補正予算など8議案(うち報告1件)が提出され、承認・可決しました。また、公立岩瀬病院企業団議会議員の選挙1件が行われました。

陳情については1件を審議、採択とし、議員発議案1件が可決されました。

2日間にわたり、5名の議員が一般質問を行い、農業振興の現状や防犯カメラの設置などについて問いました。



不動産の位置図

議会での質疑と答弁

田良尾字芝草地内の用地購入(議案第2号)について

Q [小山議員]
旧コンビニが用地の中にあるが、建物の利用はどう考えているのか。また、現在置かれている資材等は撤去の確約をしているのか。

A [総務課長]
今は物置として使用されているので、今後は解体し、全面駐車場としての利用を考えています。資材等については、片付けていただくことになっております。

Q [大須賀議員]
用地の使用目的を詳しく説明願います。

A [総務課長]
まずはイベント等における駐車場用地としての使用を目的としています。また、防災ヘリの更新により、規格が変更となることから、万が一の際の離着陸に使用することも考えております。

※上記内容は抜粋となりますので、詳しい内容や他の質疑に関しては、会議録をご覧ください。

Pickup!! [議案第5号] 平成30年度一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出予算の総額に
1,781万3,000円を追加

可決

増額補正の
主なもの

子育て関連

●子ども・子育て支援事業計画策定
ニーズ調査業務委託料 250.9万円

道路維持

●除雪委託料 1,000万円

教育施設

●学校空調設備設置工事請負費 333.8万円
※大里小学校・牧本小学校のパソコン教室
天栄中学校の特別支援教室へのエアコン設置

12月定例会その他審議結果一覧表

	号	事 件	内 容	結 果
報告	1	専決処分の報告について	福島県市町村総合事務組合規約の変更	—
議案	1	郡山市と天栄村との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について	郡山市との「こおりやま広域連携中枢都市圏」を形成するための連携協約の締結	原案可決
	2	財産の取得に関し議決を求めることについて	田良尾字芝草地内の財産取得1,000万円	原案可決
	3	工事請負契約の一部変更について	高トヤ仮置場放射性土壌等搬入物設置工事(2期)の一部変更	原案可決
	4	工事請負契約の一部変更について	大里中部仮置場原形復旧工事請負契約の一部変更	原案可決
	5	平成30年度天栄村一般会計補正予算について	3ページ参照	原案可決
	6	平成30年度天栄村介護保険特別会計補正予算について	歳出内の補正	原案可決
	7	工事請負契約の締結について	今坂区仮置場原形復旧工事1億2,636万円 有限会社おおき建設工業	原案可決
選挙	1	公立岩瀬病院企業団議会議員選挙について	小山克彦議員(継続)	指名推選

平成30年第5回臨時会の議案審議結果 [期日] 10月12日

平成30年10月12日に開会された第5回臨時会において、次の議案について審議され、原案どおり可決となりました。

可決

	号	事 件	内 容
報告	1	専決処分の報告について	福島県市町村総合事務組合規約の変更
議案	1	工事請負契約の締結について	児渡滝田線道路改良工事 契約金額 5,140万8,000円 契約の相手 株式会社八木沼組
	2	平成30年度天栄村一般会計補正予算について	(主な内容) 中学生各種大会出場補助金 183.2万円増額

1件の陳情を採択、議員発議案により意見書提出へ

陳情書1件を受け付け、委員会での審査の結果を踏まえ、本定例会において採択となりました。

総務常任委員会

放射線監視装置(モニタリングポスト等)を撤去しないことを求める陳情について

【意見書の送付先】原子力規制委員会

原発事故から7年が過ぎ、健康への影響が心配される放射線に関して、国・東京電力と住民が情報を共有し、対策を進め、リスク低減に取り組む「リスクコミュニケーション」は引き続き重要である。事故を起こした原発の廃炉までは30～40年かかるといわれている。原子力規制委員会に放射線監視装置(モニタリングポスト等)を撤去しないよう国に対して要請する。

村政を問う



平成30年12月定例会の一般質問は、12月4～5日にかけて行われました。
天栄村議会の一般質問は、答弁を除く議員の発言時間を40分とした
一門一答式のスタイルをとっています。質問内容は抜粋となりますので、
興味のある方は会議録の閲覧もできます。

1 3番 大須賀 溪仁 議員 P6

- 1 農業振興の現状と今後の方針は

2 4番 服部 晃 議員 P7

- 1 防犯カメラ設置について
- 2 土砂災害の危険性について
- 3 除雪車の管理について

3 2番 円谷 要 議員 P8

- 1 天栄ブランド米(特別栽培米)の対応について
- 2 村内の子どもへ対する予防接種の助成は

4 1番 北畠 正 議員 P9

- 1 行政区要望事項の実施状況について
- 2 幼児教育・保育の無償化について

5 8番 熊田 喜八 議員 P10

- 1 定住促進住宅の家賃滞納について
- 2 鳳坂トンネル工事について



一般質問ってなあに??

「議会」は、住民の皆さんに代わって村の行財政の運営を監視する役割があります。

一般質問は、その議会を構成する「議員」に与えられた権利です。村の事務の執行状況や村の将来への考え方について報告や説明を村長に求めることができます。村民のための適切な村政運営が図られているか、質問を行っています。



1 農業振興の 現状と今後の 方針は

議員

本村では、天栄米・ヤーコン・長ネギを三大ブランドと位置づけ事業展開し、村の知名度アップにもつながり多大な成果をあげています。しかし農業を取り巻く環境は今後も大変厳しい状況であると予想されることから、農業振興に対する村の考えを伺いたい。

① トマト・ワラビといった実証栽培の成果は。

村長

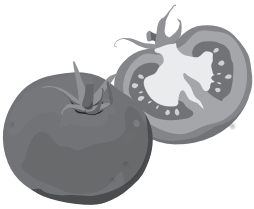
平成26年度から、種苗購入費の2分の1を補助し、現在、ミニトマトが6名、アクなしワラビで1名が道の駅等に出荷をし、一定の定着が図られたと考えております。

議員

村補助が今年度で終了するが、今後も自立した出荷ができる状況か。

産業課長

ミニトマトの販売金額は、平成29年度は約37万円、平成30年度は猛暑の影響もあり約29万円の販売状況でしたが、今後も自立して出荷は可能であると考えるています。



② 農業法人化とGAP（農業生産工程管理）の取得の現状は。

村長

農業法人化は必要不可欠な取り組みであると認識しており、担い手の中核である認定農業者を中心に、経営の意識改革を図りながら、法人化を推進して参ります。

議員

GAPの取得は、現在3名の農業者が、米のGAP取得に向けて取り組んでおります。

GAP取得には費用がかかるのか。

産業課長

県が運営主体のFGAPは費用はかかりません。JGAP・GLOBALGAP等は費用がかかります。

③ 新たな農産物のブランド化の計画や営農指導の受け入れの考えはあるか。

村長

ブランド化を目指した実証栽培は、5年間を検証期間とし、

来年度から新たな農作物の栽培実証に取り組みたい、また営農指導については米や園芸作物全般にわたり、きめ細やかな指導が行えるよう、村独自に指導員の確保に努め、農業振興を図って参りたいと考えています。



トマト(天姫)



1 防犯カメラ 設置について

議員

近年、全国的に犯罪が複雑多様化してきています。防犯カメラの設置をしているところも増えてきているところですが、天栄村でも窃盗事件が発生するなど、危険度は増してきています。

犯罪を未然に防止する上からも、また村民が安心、安全な日常生活をするためにも是非防犯カメラを設置してもらいた

いと思いますが、村長の考えを伺いたい。

村長

防犯カメラは一定の犯罪抑止力と、犯罪の発生後には、犯人の特定に非常に有効なものと捉えております。

防犯カメラの村内への設置につきましても、設置場所及び設置費用など多方面から、検討して参りたいと考えております。

2 土砂災害の 危険性について

議員

今年度は異常な程、台風が日本国土に上陸し、また各地でゲリラ豪雨や落雷など自然災害が多く発生しました。

天栄村でも、防災マップが作成され、全世帯に配布しましたが、土砂災害危険区域に指定さ

れた地域に対しては、どのような対策をとっているのか村長に伺いたい。

村長

本村では、土砂災害防止法に基づいて、土砂災害危険箇所として指定されている箇所が多く存在していることは、承知しているところであります。

このようなすべての危険箇所を対策工事により安全な状態にしていくには、膨大な時間と費用がかかってしまうことから、土砂災害防止法では、危険の周知、避難体制の整備、一定の開発行為の制限などのソフト対策を推進しようとするのが目的とされております。

今年度は、土砂災害危険区域の多い湯本地区において、土砂災害を想定した避難訓練を実施するなど、実践的な訓練にも取り組んだところであります。引き続き、本庁管内においても避難訓練を実施し、住民の皆さんに土砂災害の危険性と、災害

時における身の安全の確保について、周知して参ります。

3 除雪車の 管理について

議員

天栄村では、

防災備蓄倉庫

の敷地内に除

雪車が駐車し

ていますが、福

島県内を見渡

しても、野ざら

しになっている

のは天栄村だ

けだと思いま

す。高価なもの

なので車庫に

保管の上、大事

に扱うべきと

考えるが、村長

の考えを伺い

たい。

村長

本庁管内を除雪している5台の除雪車が野ざらしの状態となっておりません。

今後は、格納庫の規模や構造を簡易なもので安価に出来ないか、また、他の補助事業等で整備できないかなどを検討しながら改善して参りたいと考えております。



除雪車屋外保管状況



1 天栄村ブランド米 (特別栽培米)の 対応について

議員

毎年農業情勢が変化するなかで、村としてはブランド米(特別栽培米)をどのような方法でこれから取り組んでいくのか。また計画があるのか。過去5年間の特別栽培米の作付け状況の資料提出の上お伺いします。

村長

米をめぐる情勢は、全国ベアスで、主食用米の需要量が年々減少している中、平成30年から、国による生産数量目標の配分が廃止され、米作りは、生産者が自らの経営判断や販売戦略で行うという制度に大きく変わり、消費者の需要を踏まえた米作りの必要性がますます強まっております。

本村におきましては、農村環境の保全と、環境に配慮した特別栽培や有機栽培による安全・安心な米作りを推進するとともに、県やJAと緊密に連携し、消費者の理解促進を図り、米需要の拡大を図って参ります。

議員

特別栽培の販売戦略を農協と協議をしたことがあるか。

産業課長

今までは農協と協議はしておりませんでした。

議員

これからも、今までと同じ考えで作付け販売は生産者の判断でお願いしますとのことですか。

産業課長

生産者が自らの経営判断や販売戦略で行うということではあります。村としては、これからは農協と協議をして参りたいと考えております。



天栄ブランド米

2 村内の子どもへの 対する予防 接種の助成は

議員

毎年子ども達が受ける予防接種は、何種類あるのか。また、村ではどの予防接種に対し助成金を出しているのか、出していないのか資料提出の上、お伺いします。

村長

子どもの予防接種は、小学校6年生までに予防接種法に基づき定期接種が8種類、計25回の接種と、任意接種ではありませんが、本村においては、行政措置接種として実施している2種類、計4回から5回の接種がございます。これらはいずれも、村が負担している予防接種で、村民の自己負担はございません。またその他、任意接種として

て3種類がございます。

ご質問にありました、毎年子ども達が受ける予防接種としては、任意接種ではございますが、季節性インフルエンザの予防接種がございます。これは、任意でありますので、保護者の判断により接種するものでございます。

議員

この季節性インフルエンザ予防接種においては、村に申請することにより、1回1,000円の助成を受けることができます。接種回数は、1歳から13歳未満が年2回、13歳から15歳までが年1回となっております。

住民福祉課長

インフルエンザ予防接種において、1回1,000円の助成を受けることを知らない村民のために早急に通知できないか。

早急に村民に周知徹底を図って参ります。



1 行政区要望事項の 実施状況について

議員

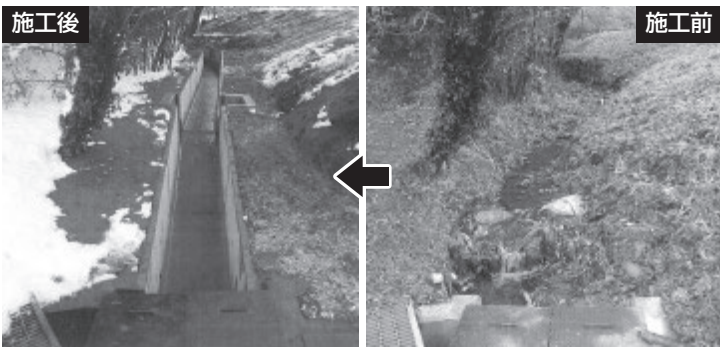
各行政区から毎年要望事項について提出されていますが、それらについては、現在どのような進められているのか、進捗状況について伺いたい。

また、実施については何らかの優先順位があるのかどうか、行政区とはどのようなやりとりをしているのかも伺いたい。

村長

毎年各行政区からは多種多様な要望があり、直ちに対応できるものから調査検討を要して実施までに数年かかるものもあります。また、用地等の問題で協力が得られず実施できないものや

地権者の受益を鑑みて公共事業では適さないのではないかと検討せざるを得ないものもあるため、一律に進捗状況を表せないも



要望による整備

のとなっております。要望については、毎年100件前後の要望が提出されており、要望の実施数は約50件程度であります。

また、優先順位につきましては、緊急性のあるものを優先的に心がけているところですが、地区ごとに金額規模を含め、近年の実施状況や緊急性を勘案して大きな偏りとならないよう配慮しながら実施しているところです。

なお、行政区とのやりとりにつきましては、要望書提出の際にご相談させていただいております。

また、協働の里づくり事業などの住民協働の事業展開もしながら、出来る限り各地区の要望にお応えできるよう対応しているところであります。

2 幼児教育・保育の 無償化について

議員

小・中学校において教科書等

は無償化されておりますが、給食費は保護者にとって経済的な負担となっております。少子化対策の一環として保育所入所者負担の軽減、さらには小・中学校の給食を無償化、あるいは軽減化する事は考えられないのか伺いたい。

村長

幼稚園・保育所などの利用料が無償化されることが、国の方針によって示され、2019年10月1日からの実施を目標しているところです。

村では、子育て支援の一環として、幼稚園授業料の無償化を実施しているところでございます。

また、保育所の利用者負担金は現在、多子世帯や同時入所の利用者負担金の軽減を行っております。

村では、国が無償化を実施する2019年10月1日より、住民税非課税世帯のみを対象として無償化、ま



天栄保育所

た、幼稚園預かり保育料も無償化する予定でございますので、ご理解いただければと思います。また、学校給食にかかる経費については、学校給食法において、保護者の負担と定められており、無償化あるいは軽減化におきましては、基本的に「食」の部分でありますので、受益者負担の考え方が適切であろうと考えております。

今後は、県内市町村の動向を見ながら研究していきたくと考えております。



1 定住促進住宅の家賃滞納について

議員

9月定例会での決算認定で、1年以上も家賃を滞納している方がおられることが明らかになりましたが、なぜそのようなことになったのか。一般社会では、考えられないことですが、村はどのような対応をしてきたのか。また、滞納者は何名で、額はいくらなのか。村民の皆様方に対して分かりやすく、伺いたい。

村長

定住促進住宅の家賃滞納についてですが、ご指摘のとおり、一部の入居者において、何月分も家賃を滞納していた状況がありましたことから、現在、建設課職員一丸となって家賃滞納の解消に取り組んでいるところであります。

家賃滞納の原因としましては、勤めていた会社との契約が切れ、無収入の状態があったことや会社の勤務体系が変わり、手当等が減少したことがあげられます。また、入居している世帯の子どもたちが中学生、高校生と成長するにつれて出費が増えるなどといった、家庭環境の変化も家賃滞納の要因と考えられます。滞納者への対応ですが、督促、催告を行い、それでも納付しない方に対しましては、電話連絡や自宅訪問するなど、滞納解消に取り組んで参りましたが、退去勧告といった厳しい対応までは行っていませんでした。滞納者とは納入相談を行っておりま

たが、生活状況を考慮して入居者の立場を優先して対応してしまっていたことも滞納が増えた一因であると反省しているところであります。

家賃滞納につきましては、議会や監査において厳しいご指摘を受けており、現在、滞納者や連帯保証人と退去を視野に入れた交渉を行い、より厳しい対応をとっているところであります。

決算後これまでに4名の方が完納となり、現在、過年度分の滞納者は4名の方で、滞納額につきましては、約100万円となっております。

現在は計画的な納入により



定住促進住宅

2 鳳坂トンネル工事について

議員

鳳坂トンネル工事を受注した業者から下請けをした業者の中に建設業の許可が取り消されている会社があると、一部のマスコミ誌に書かれました。それは事実なのか。また事実であるならば、工事を進めていく上で、問題は無いのかを伺いたい。

村長

鳳坂トンネル工事につきましては、ご承知のとおり県中建設事務所が平成28年に大林組に

発注しており、現在、トンネルの本体工事に着手しているところであります。

ご質問の内容につきましては、村において直接関与していないため詳細を知ることが出来ませんが、県に確認したところ、二部マスコミに掲載されている内容につきましてはご心配をおかけしておりますが、工事の執行に問題はなく、今後の進捗には影響がないように最善を尽くすとのことでありました。村としても、村民の悲願であるトンネルであるため、工事に不安を抱かれないよう、県にはたつきかけて参りたいと考えております。



鳳坂トンネル



▶岩瀬地方町村議会議員協議会視察研修／平成30年11月6～7日

千葉県木更津市DBO方式による道の駅整備について視察

鏡石町議会と天栄村議会の議員21名で構成する岩瀬地方町村議会議員協議会(会長:天栄村議会廣瀬議長)において視察研修を実施しました。

千葉県木更津市では、資金調達は市が行い、設計、建設、維持管理・運営を包括的に業者に委託するという「DBO方式」を採用し、道の駅うまきたの里が整備されました。その経緯や運営について、経済部農林水産課の職員や道の駅の指定管理者より説明を受け、説明後には質疑応答が行われるなど、先進的な事例や共通の課題として見識を深めました。



木更津市議会 重城副議長

▶議会運営委員会行政調査／平成30年11月13～14日

議会運営委員会

活気ある議会運営への取り組みに向けて

平成30年11月13・14日、議会運営委員会(熊田喜八委員長)5名は、議会運営にかかる調査研究として、宮城県美里町議会を視察しました。当町議会は議会活性化調査特別委員会を設置するなど、議会活性化に向けた取り組みがなされており、この他にも議会基本条例の制定や通年議会、更にはインターネット配信による議会中継などを行っており、導入に至った経緯や取り組み事例の説明を受けました。



美里町議会の議場にて

▶天栄村消防団出初め式／平成31年1月6日

新春恒例の消防団出初め式を拝見

1月6日(日)、村屋内スポーツ運動場(季楽里)にて平成31年天栄村消防団出初め式が開催され、村議会議員10名も来賓として出席しました。

式では通常点検や機械器具点検が行われ、真剣な面持ちで臨む団員達は、防火・防災への意識を更に強くしているように伺えました。

村議会を代表して廣瀬和吉議長が「団長を中心に団員各位が一丸となり、不屈の消防精神の下、更なる活躍をされることをご期待申し上げます。」と祝辞を述べました。



出初め式の様子

村内中学生が村政を問う



中学生による模擬議会

【平成30年12月26日】



12月26日(水)に議場にて、村内中学生による模擬議会が開催されました。

天栄中学校と湯本中学校の生徒10名が参加し、執行部と活発な議論を交わしました。議長は天栄中学校の黒澤優斗君が務め、緊張した面持ちながらも、立派に議長としての職を全うしました。議会終了後には、「中学生ならではの観点で質問が出て大変嬉しく思う。今回の模擬議会を通し、行政に興味を持ってもらい、将来本物の議員となって、ここに立ってほしい。」と廣瀬和吉議長が講評を行いました。



議長 黒澤優斗君(天栄中)

中学生による模擬議会での議長を務める



5番 車田朱璃さん(天栄中)

- 1 商業施設の誘致について
- 2 若者が魅力を感じる村づくりの計画について



1番 圓谷晃生君(天栄中)

- 1 交流人口を増加させる観光の振興政策について
- 2 国道294号線沿いの桜並木の周辺整備について



6番 小沼楓涼君(天栄中)

- 1 福祉を充実させる「へるすぴあ」の役割について
- 2 高齢者や障がい者の福祉に対する老人ホームとへるすぴあの関係について



2番 蛭田周夏君(天栄中)

- 1 外灯の設置基準について
- 2 不審者対応や交通事故防止に向けた外灯設置について



7番 蛭原風馬君(天栄中)

- 1 移住者の増加対策を含めた本村の人口減少対策について
- 2 天栄村の行事や魅力等の情報発信について



3番 内山巧稀君(天栄中)

- 1 白子テニスコートの整備について
- 2 理科実験器具の整備について



8番 室井 遥さん(湯本中)

- 1 今年度、新たに行った農業政策について
- 2 その政策の意図と成果について



4番 大高来望さん(天栄中)

- 1 天栄村のまちおこし計画について
- 2 村民へのまちおこしPRについて



9番 星 妃咲さん(湯本中)

- 1 美しい村づくりに向けたゴミの不法投棄への取組について
- 2 今後の環境整備の取組について

《議会広報常任委員会》

委員長 服部 晃
副委員長 揚妻 一男
委員 熊田 喜八
委員 円谷 要
委員 後藤 修

新年あけましておめでとうござい
ます。
少し遅れてのご挨拶となりました
が、村民の皆様におかれましては、輝
かしい新年を迎えられましたこと
を、心よりお慶び申し上げます。
今年も統一選挙の年です。我が村
でも村長選挙を控えており、票の重
さがより身近に感じるところです。
昨年暮れに、村内中学生による
模擬議会が開かれ、活発な討議をさ
れました。若い人が政治に興味をも
つてくれることは、大変喜ばしいこと
であり、村の将来に希望の光を見る
思いでした。
今年亥(猪)年です。今、世界の
政治、経済はエゴの張り合いの様相で
す。こんな中、猪武者の気概を持つこ
とが必要かと考えるが、農作物に被
害を加える猪だけご免被りたいも
のです。

編集後記

